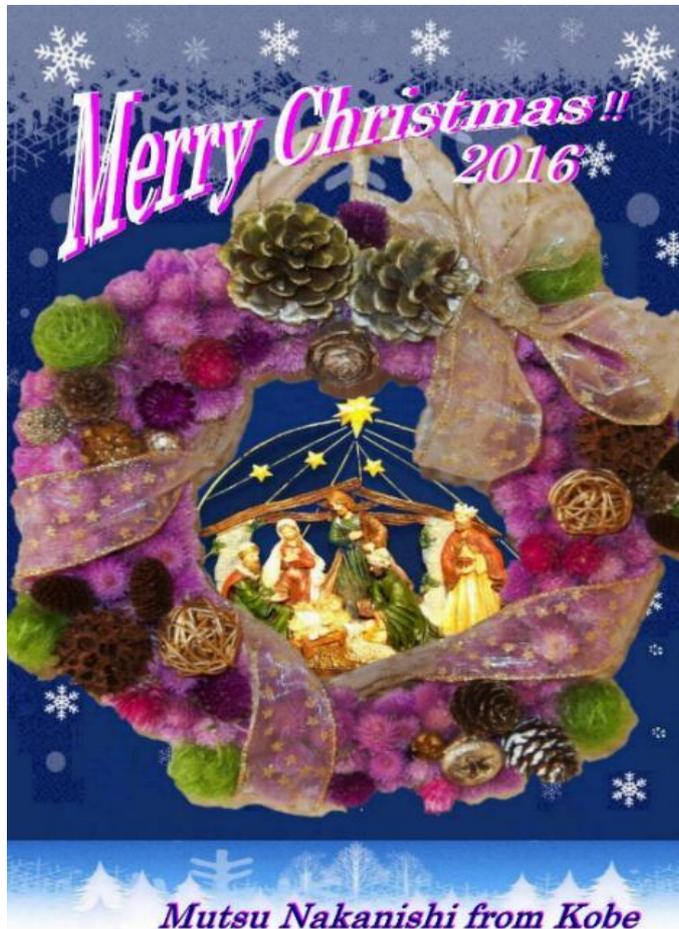


【From Kobe 12月の便り】

.2016.12.10.

Merry Christmas!! 2016 年師走 本年最後のHP 更新の便り

● この世界の片隅で 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て  
「縄文の心」の小文ではじまつた1年でしたが、しめくりの12月にもまた「縄文の心」で  
幸福感よりも不安感が増す激変・変革の時代の今 今一度立ち止まって「地球環境」「平和」「暮らし」を考えたい  
by Mutsu Nakanishi



11月の寒波襲来が嘘のような師走の温かさ 異常気象が続く中 神戸ではルミナリエも始まり、  
クリスマスの装いをした街に 華やいだ声があふれ、神戸の街も師走のムードに  
振り返ってみると あっという間の1年 色々気にかけていただき ありがとうございます。  
この1年 格差の増大と幸福感が日に日に遠のいてゆく現実がひたひたと弱者切り捨て  
問答無用の封建時代に戻ってゆくような現実が ひたひたと。そんな不安感が頭をよぎる昨今  
われわれも 勝ち組の仲間の中に入れてほしいなあと でも 愚痴は言うまい 前向いて  
歳をとるとともに スピードについてゆけず、  
あっという間 色々あった1年だったですが、  
おかげ様で孫たちもすくすく家族ともども元気に暮らしています  
まだまだ 元気 好奇心もある  
新長田の「鉄人28号」 原色に近い色に塗りなおされ、  
こぶしを空高く高く 振り上げる  
これからも 仲間の元気を活力に 前向いてと  
お互い無理せず元気に よろしくお祈りします

2016年クリスマス

Mutsu Nakanishi From Kobe



● **この世界の片隅で** 久しぶりに映画「この世界の片隅に」を見て  
「**縄文の心**」の小文ではじまつた1年でしたが、しめくりの12月にもまた「**縄文の心**」で  
幸福感よりも不安感が増す**激変・変革の時代**の今 今一度立ち止まって「**地球環境**」「**平和**」「**暮らし**」を考えたい

久しぶりにアニメ映画「この世界の片隅に」を見た。  
戦時下 空襲にさらされ、逃げまどい そして原爆投下の厳しい現実。  
そんな呉・広島<sup>の</sup>街で暮らす若夫婦の生活・絆を淡々と描かれる。  
年寄世代にはちよつと物足りぬ面もあるのですが、  
こんなに淡々と戦争悪を描けるのかと。  
ちょっとすがすがしさを感じながら 映画館をでてきました。

知らなかったのですが、今この映画に多くの若者たちが共感して  
続々上映館が増えてヒット中と聞く。  
これはうれしい若者の変化の兆しか……  
機会があれば ぜひ一度どうぞ



### 一年の終わりに また今一度 「鉄」と「縄文の心」に思いを

生命をつかさどる**元素**・文明を支える**元素**として「**鉄**」がなければ人類は生きてゆけない  
溶鉄の輝き「**閃光**」と鉄の黒光り「**肌光**」その輝きの中に燦然と輝く「**鉄**」と人類の知恵の数々  
人類が**激変**する地球を生き抜いてきた**唯一の道**・知恵が「**他人を思いやる心**」  
かつて日本には 1万年の長きにわたって**平和な社会**を持続した**形成**してきた時代があった  
日本人の心のふるさとといわれる「**縄文**」 その**エンジン**は「**縄文の心**・他人を思いやる心」だった  
「**鉄**」と「**縄文の心**」 **激変** の今 時代を生き抜く**唯一のエンジン**である  
現代社会においてはしばしば「**なまっちょろい**」と呼ばれ、切り捨てられてきた「**心**」  
でも 一旦**危機**・災害に直面した時には 誰しもがその**力強さ**に心打たれる「**心**」  
「**鉄**」も今 **激変**する時代の中で、**新しい姿**を見せ、**新しい指針**を示し始めた。  
「**鉄は国家なり**」の「**鉄**」から「**豊かな海を育てる優しい鉄**」・「**地球温暖化を軽減するかもしれない鉄**」へ

世界の先陣を走っているといいつつも、厳しい競争にさらされ、幸福感が味わえぬ高度情報社会のギャップの大きさ。  
今 世界でそのほころびが目立ち、戦争の危機・貧困・格差の克服の道さえ見えず、軽薄なアジテーション。  
自分さえよければの**独裁**・**保護主義**の道への入口にいる。日本でも例外でない。今 一度考えよう。

世相は混沌 世界の情勢も 既存勢力が次々とどんでん返し。こんなはずではなかったとの声も。  
グローバル化・効率・大量消費を追い求めた国際金融中心の情報化社会のほころびがあちこちに。  
過度のグローバル化・金融主義がもたらす過度の競争と格差の急拡大が抜き差しならぬものとなり、大国主義の増長  
とスピードと数の力に頼った薄っぺらな東京一極集中 情報社会の弊害もますます拡大しつつある。  
自己責任と想定外を声高に叫び、自分さえよければ…の**保護**ご都合主義の声も日増しに拡大している。  
貧困・核の脅威・戦争の拡大が我が身にも 現実のものとなって迫ってくる。  
この1年 格差の増大と幸福感が日に日に遠のいてゆく現実がひたひたと  
弱者切り捨て、問答無用の強権 なにか封建時代に戻ってゆくような錯覚さえ漂う現実が ひたひたと。  
そんな不安感が頭をよぎる昨今 何の反省もなく、何か日本だけが旧態依然の中央一極集中を猛スピードで

ひた走り、いまだに金遣いの荒い箱もの政治で悦に入っている政治家たち。

国際化を口を開けば標榜しながらも、世界の孤児に、薄っぺらな仲間政治に気がつかぬのか……

ごく普通の庶民に見える国際色豊かな外人たちが闊歩する日本の街を見れば、一目瞭然。日頃 マスコミが言うのとは違う現実が目の前に。日本は彼らにも負け、置いてきぼりになった実感がふつつと。

でも 突破口はどこにあるのだろうか……

内橋克人氏が警鐘を鳴らし続ける「頂点迎合主義」は もうまっぴら。

人に任せず、惑わされず、自分の感性をみがかねば……と

トランプに期待したって所詮自分の仲間にしかな興味がない人物。

彼に希望を託した人たちが報われれば、新たな希望が生まれるのですが、さあ どうでしょうか……

日本も東京以外に希望はないのか でも東京からはよせてもらえぬだろうなあ。

東京化をいくら主張したって、所詮 先は知れている。暗いなあ……と。

若者に静かなブームだという映画「この世界の片隅に」で聞く若者の変化の兆し……

現実をしっかりと見つめる若者が時代の先端を担ってほしいと

「縄文の心」の小文ではじまった1年でしたが、師走の12月にも また「縄文の心」を訴える地球環境変化による異常気象や地球の活動活発化による巨大災害が降りかかる時代 誰もが、大災害に巻き込まれかねぬ時代 危険予知をしっかりと、少しでも災害の軽減に 抜かりなきよう。

暖冬が続いていますが、気象激変がわが身に迫る時代まもなく「北風小僧がやってくる」

インフルエンザの季節 体調管理でにご留意ください。

私も長びく風邪 早く治したいと。

2016.12.10. From Kobe Mutsu Nakanishi

## 参考1 和鉄の道・Iron Road 【縄文の心・他人を思いやる心】 縄文帰りのの勧め

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

- ◆ 2016年1月 2016年年初めに <<縄文の心>> 2016.1.1.

世界に類のない一万年も平和で豊かな生活が続いた日本の「縄文」

そのエンジンは「他人を思いやる心」 人類が激変する地球を生き抜いてきた唯一の道でもある

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/2016mutsu/fkobe1601.pdf>

- ◆ 「利他的精神」について 朝日新聞天声人語より

競争社会から成熟社会へ 日本に必要なのは「心の優しさ」では 2014.6月

<http://www.infokkna.com/ironroad/2014htm/2014mutsu/fkobe1406B.pdf>

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



<http://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

## 参考2 和鉄の道・Iron Road 「鉄」は豊かな海の源

- ◆ 畠山重篤 山と海の出逢い -つながりと恵みを巡る旅- 第18回「鉄の誘い」

「鉄」は豊かな海の源 雑誌「岳人」2016年2月号掲載雑誌

<http://www.infokkna.com/ironroad/2016htm/iron12/1604tetsuenosasoieb.pdf>